

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



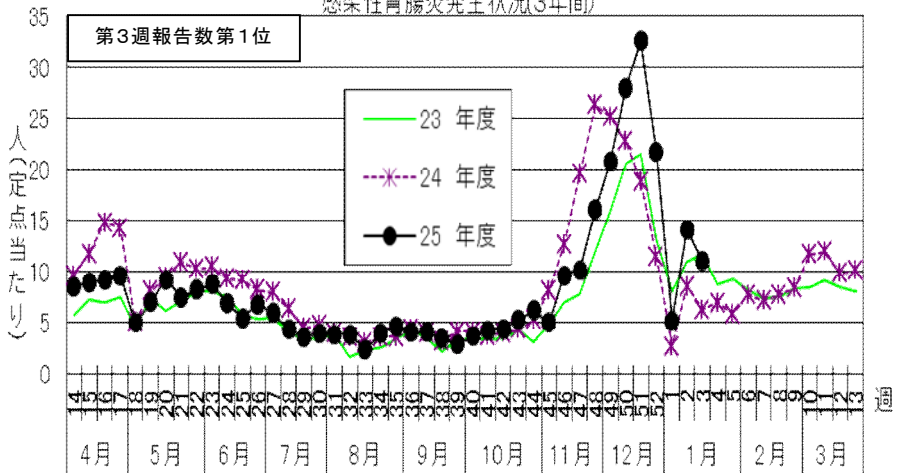
KAWASAKI CITY



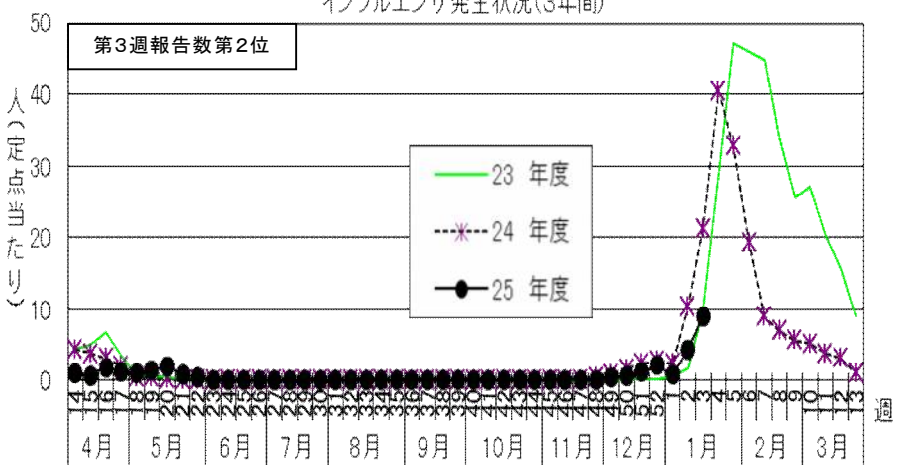
平成26年1月13日(月)～平成26年1月19日(日)〔平成26年第3週〕の感染症発生状況

第3週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 でした。
 感染性胃腸炎は定点当たり11.00人と前週(14.18)より患者報告数は減少しており、例年よりやや低いレベルで推移しています。
 インフルエンザは定点当たり9.02人と前週(4.37)より患者報告数は大幅に増加していますが、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.76人と前週(1.45)より患者報告数は増加しており、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)

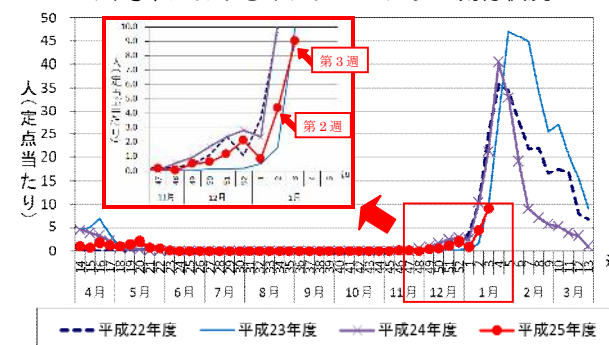


インフルエンザに要注意～患者急増中～

川崎市において、第3週におけるインフルエンザの患者報告数がさらに増加し、流行発生注意報基準値(定点当たり10人)に近づいています。

すでに、市内でもインフルエンザによる学級閉鎖が続いていますので、引き続き手洗いや咳エチケットを徹底しましょう。

川崎市におけるインフルエンザの流行状況



海外では鳥インフルエンザ(H7N9)も...

世界保健機関(WHO)によると、中国と香港で鳥インフルエンザ(H7N9)の患者が発生しています。また、台湾でも、中国に渡航歴のある鳥インフルエンザ(H7N9)の患者が発生しました。

中国、香港、台湾に渡航される方は、今後の情報に注意するとともに、鳥に直接接触したり、病気の鳥や死んだ鳥に近寄りしないようにしましょう。



鳥インフルエンザ(H7N9)とは

今までヒトへの感染が知られていなかったインフルエンザで、昨年の4月1日にWHOが中国でのヒトへの感染事例を初めて公表しました。

感染源はまだわかっていませんが、ヒトからヒトへの持続的な感染は確認されていません。

